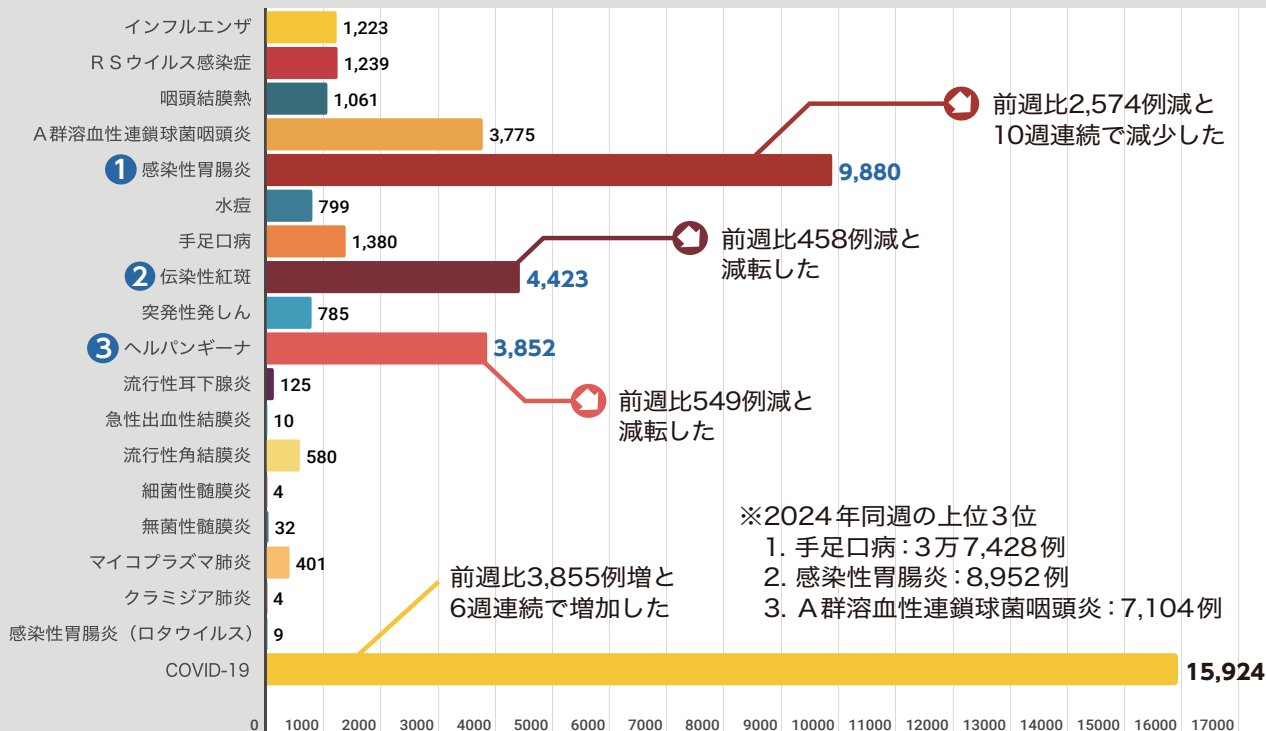




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

新型コロナ拡大止まらず、1万5,000例超に

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,287例
2. 大阪府: 680例
3. 神奈川県: 560例

定点当たりの報告数(4.19)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 愛媛県: 8.00 | 4. 群馬県: 6.72 | 7. 宮崎県: 5.60 | 10. 石川県: 5.18 |
| 2. 大分県: 7.78 | 5. 島根県: 5.91 | 8. 奈良県: 5.54 | 11. 兵庫県: 4.92 |
| 3. 岐阜県: 7.15 | 6. 山形県: 5.88 | 9. 鹿児島県: 5.35 | 12. 福岡県: 4.91 |

② 伝染性紅斑

報告数

1. 大阪府: 433例
2. 愛知県: 276例
3. 北海道: 269例

定点当たりの報告数(1.88)

- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県: 5.00 | 4. 島根県: 3.55 | 7. 岐阜県: 3.19 | 10. 福岡県: 2.90 |
| 2. 大分県: 4.39 | 5. 石川県: 3.54 | 8. 秋田県: 3.15 | 11. 滋賀県: 2.86 |
| 3. 三重県: 3.80 | 6. 和歌山県: 3.48 | 9. 宮城県: 3.03 | 12. 新潟県: 2.83 |

※その他、15府県が警報基準値(2.00)超え

③ ヘルパンギーナ

報告数

1. 大阪府: 400例
2. 東京都: 374例
3. 兵庫県: 273例

定点当たりの報告数(1.63)

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 香川県: 4.08 | 4. 滋賀県: 3.57 | 7. 山口県: 3.23 | 10. 京都府: 2.62 |
| 2. 高知県: 4.05 | 5. 岡山県: 3.50 | 8. 熊本県: 3.00 | 11. 兵庫県: 2.58 |
| 3. 三重県: 3.84 | 6. 宮崎県: 3.27 | 9. 鹿児島県: 2.77 | 11. 鳥取県: 2.58 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比2,574例減と10週連続で減少し、1万例を下回った。伝染性紅斑は458例減と減転し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週同様に27道府県(山形県、大分県、三重県、島根県、石川県、和歌山県、岐阜県、秋田県、宮城県、福岡県、滋賀県、新潟県、栃木県、愛知県、北海道、奈良県、富山県、群馬県、宮崎県、長野県、静岡県、愛媛県、大阪府、福島県、茨城県、沖縄県、広島県)となり、依然広い地域で流行が続いている。ヘルパンギーナは前週比549例減と減転した。COVID-19は、前週比3,855例増と6週連続で増加し、第12週以来18週ぶりに1万5,000例を上回った。定点当たり報告数は、沖縄県(14.13)、宮崎県(10.07)、鹿児島県(9.33)、熊本県(7.85)、埼玉県(6.14)、佐賀県(5.92)、千葉県(5.91)、茨城県(5.88)、福岡県(5.30)、神奈川県(5.22)と広い地域で多く、流行拡大に強い警戒が必要である。